

令和6年度 厚生労働省事業

就労世代の歯科健康診査等 推進事業等の成果ご報告

「安心・豊かな社会」を創り出す信託銀行 *Create a Better Tomorrow*

三菱UFJ信託銀行健康保険組合

世界が進むチカラになる。



三菱UFJ信託銀行健康保険組合の概要

設立：1959年4月1日

加入者数：21,074人（被保険者数：12,380人、被扶養者数：8,444人）

平均年齢：42.9歳（男性：45.0歳、女性：40.2歳）

保険料率：健康保険料率 7.50%
介護保険料率 1.68%

事業所数：21社

母体事業主（三菱UFJ信託銀行株式会社）の概要

設立：1927年3月10日

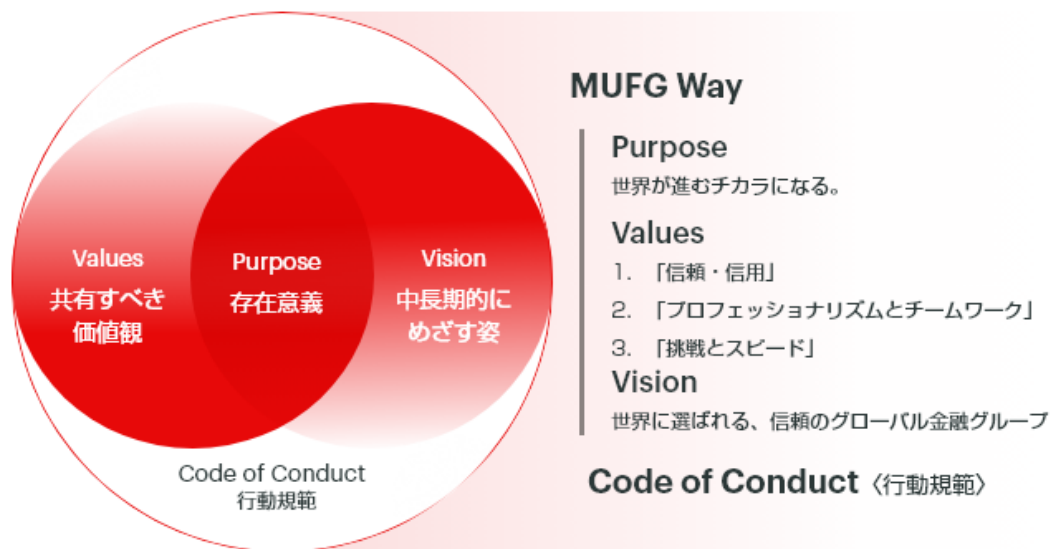
資本金：3,242億円

連結総資産額：41.3兆円

信託財産額：568.5兆円

従業員数：6,283人

拠点数：国内51、海外5



健康経営宣言

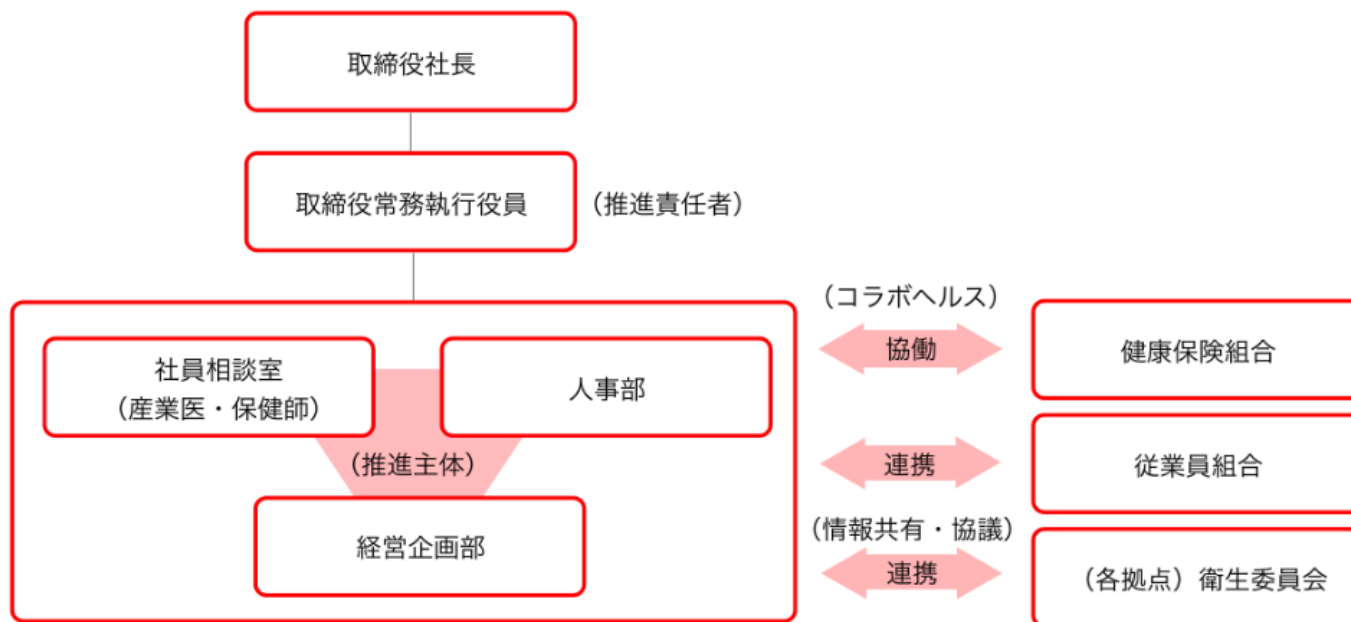
三菱ＵＦＪ信託銀行では、「安心・豊かな社会」を創り出す信託銀行 ～社員一人ひとりが事業活動と基盤充実を通じて社会課題の解決に主体的に取り組むことで「社会・お客さま」・「当社」・「社員自身」の持続的成長を実現する を目指す姿に掲げていますが、その実現のためには、従業員一人ひとりが心身ともに健康であることが何よりも大切と考えています。このような考えの下、当社では、従業員の心身の健康ならびにご家族の幸せのために、様々な取り組みを通じて「健康経営」を実践してまいります。

その上で、社会やお客さまからの信頼や期待に一層お応えして参ります。

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

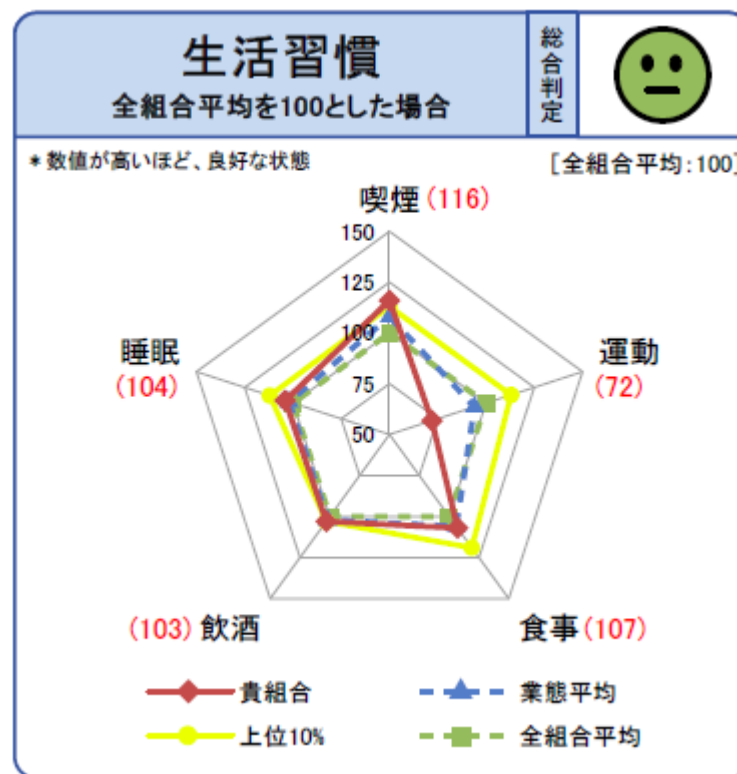
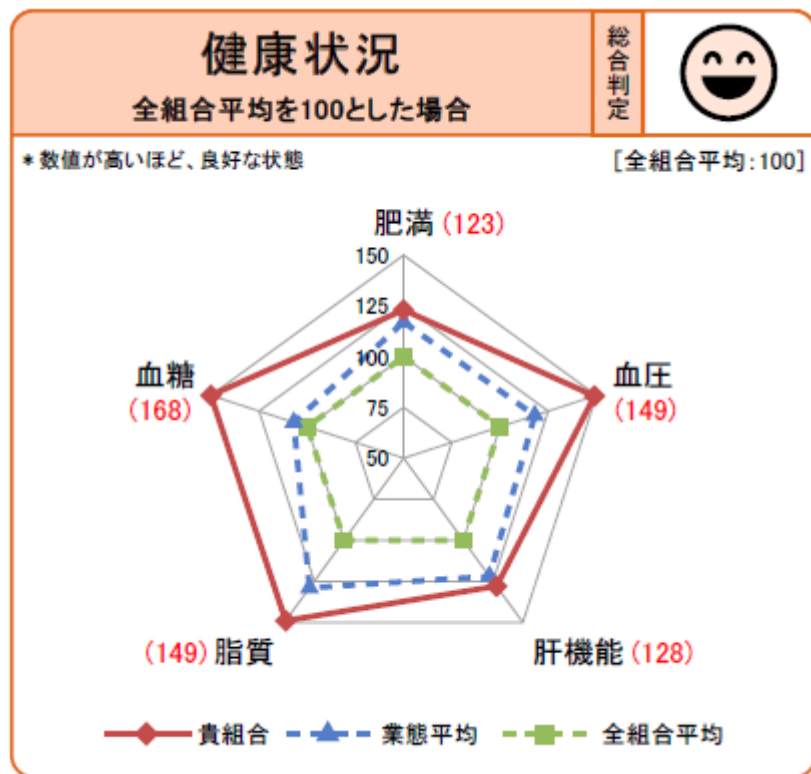
取締役社長 長島 巖

健康経営の推進体制



これまでの健康全般に関する取組みと課題認識

- ・健保加入者の健康状況(リスク保有者割合)は、肥満・血圧・肝機能・脂質・血糖いずれについても業態平均・全組合平均を下回り、おおむね良好。
 - ・一方、生活習慣に関しては、運動は大幅に平均を下回り、飲酒・睡眠・食事平均並みで、改善に向けた意識・行動変容を課題と認識。
- ⇒生活習慣改善の啓蒙施策として、2009年から毎年秋に「健康チャレンジ」キャンペーンを開催。目標達成へのインセンティブとしてポイントを付与。



これまでの歯科口腔保健の取組みと課題認識

2006年 委託先提携歯科医院での無料歯科健診事業開始

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
利用者数	27	60	48	25	45	76	8	72	62	74	114
本人	23	52	43	25	39	68	7	71	58	72	112
家族	4	8	5	0	6	8	1	1	4	2	2
男	9	32	21	13	12	33	3	41	32	46	62
女	18	28	27	12	33	43	5	31	30	28	52

※2024年度は12月分まで

2019年 健康経営の取組開始

2020年 健康経営優良法人認定取得

2021年 健康チャレンジのコースに
「歯磨き(1日3回、うち1回は
5分以上歯磨きしましょう)」を追加

2022年 健康経営優良法人(ホワイト500)
認定取得

2023年 健康経営研修のテーマに「歯と口
の健康」を追加

本モデル事業に参加

⇒ 5割の被保険者が1年間未受診であり、
勧奨の必要性を認識

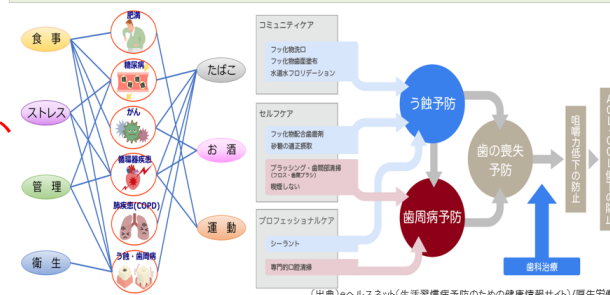
2024年 前年に続き、本モデル事業に参加



イベント概要			
以下の10コースから選んで、達成率をQUPio Plusに記録してください。			
<取組内容> および 達成基準			
No.	コース名	取組内容	達成基準
1	ウォーキング	1日6,000歩以上歩きましょう	30日以上達成
2	ストレッチや筋力トレーニング	ストレッチや筋力トレーニングは、5分程度しましょう	30日以上達成
3	階段を歩きましょう	エレベーターやエスカレーターも併用して階段を歩きましょう	30日以上達成
食生活改善部門			
No.	コース名	取組内容	達成基準
1	朝ごはんを食べましょう	朝ごはんを食べましょう。夕食は就寝の2時間以上前に食べましょう	30日以上達成
2	よく噛みましょう	1口30回以上噛んで食べましょう	30日以上達成
3	野菜を食べましょう	野菜から食べましょう。1日350gの野菜を摂りましょう	30日以上達成
日常生活習慣部門			
No.	コース名	取組内容	達成基準
1	インフルエンザ・風邪予防	うがい・手洗いをしましょう	30日以上達成
2	睡眠	1日3回、うち1回は5分以上睡眠をしましょう	30日以上達成
3	加齢・健康状態を把握しよう	加齢・健康状態を把握しよう	30日以上達成
4	禁煙	禁煙しましょう	30日以上達成

歯と口の健康

- ◆ 歯と口の疾患はさまざまな全身疾患と関連しており、歯の健康状態を維持・改善することは全身の健康状態の維持に欠かせません。
- ◆ 歯と口の健康を維持するには生涯にわたる歯科保健対策が必要です。むし歯と歯周病の予防を充実させることで、将来の「歯の喪失」を防ぐことが可能になります。



モデル事業実施の流れ（ターゲットを絞った歯科健診等の勧奨）

実施概要：ターゲットを絞った歯科健診等の勧奨

ターゲット選定：歯科未受診かつ生活習慣病重症化リスク保有者

案内対象人数：1,111人

実施日程：2024年8月16日 関係者調整 ～ 8月23日 対象者抽出条件確定

9月10日 案内はがき確定

9月18日 社内イントラネットで参加者募集を告知

9月27日 対象者(1,111人)に案内はがき発出＋健保組合から直接Eメールで案内
到着次第～10月11日 検査キット申込期間(応募者数133人) ※応募率12%

～10月28日 検査キット送付、到着次第簡易スクリーニング実施の上、返送

～11月11日 検査結果送付(検査実施者数111人) ※実施率83%

～1月17日 事後アンケート(回答者数102人) ※回答率92%

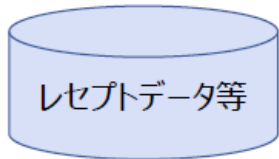
ターゲット抽出

対象者へ通知

簡易スクリーニングを
媒介に勧奨

後日結果を受領

歯科受診状況分析



自宅あて郵送＋健保からEメールで案内

ブラシで舌をぬぐい、
検体採取・郵送



検査結果と併せて
啓発資料を送付



事後アンケートおよびレセプト
で歯科受診状況分析

<ターゲット選定条件 ※>

歯科未受診者（過去1年）
かつ

- ① 特定健診の問診で自覚症状がある者
- ② 特定保健指導対象者
- ③ 糖尿病・脂質異常・高血圧患者

※歯周病リスクを「自分ごと化」してもらう
観点から、歯科未受診というだけでなく、
自覚症状や関連病歴のある有リスク者を
ターゲットに設定

昨年1年間、歯科受診がなく、歯周病リスクチェックをお勧めしたあなたへ

歯周病
・歯を失う原因の第1位
・口臭の原因の約90%
・糖尿病等成人病を重症化

将来の自分のために今できることを！
この機会に歯科医院を受診しましょう！

まずは…
検査キットをお手軽に歯周病リスクチェック
検査方法はとっても簡単！

右記の二次元コードをスクリーンに読み込み
申し込みに必要な情報を回答
申込み期間 令和6年10月11日（金）まで

リスクが高めの結果が出ても大丈夫！
歯科健診も無料です

おし歯・歯周病チェック
歯科健診をご希望の方は、
右記の二次元コードをスクリーンに読み込み
一般歯科健診をお申し込みください
※歯周病リスクチェックの結果は、歯科健診の結果と合わせてご報告いたします。

提供している全国の歯科医院で受診が可能です。
お近くの歯科医院を検索してください。



本事業の実施結果

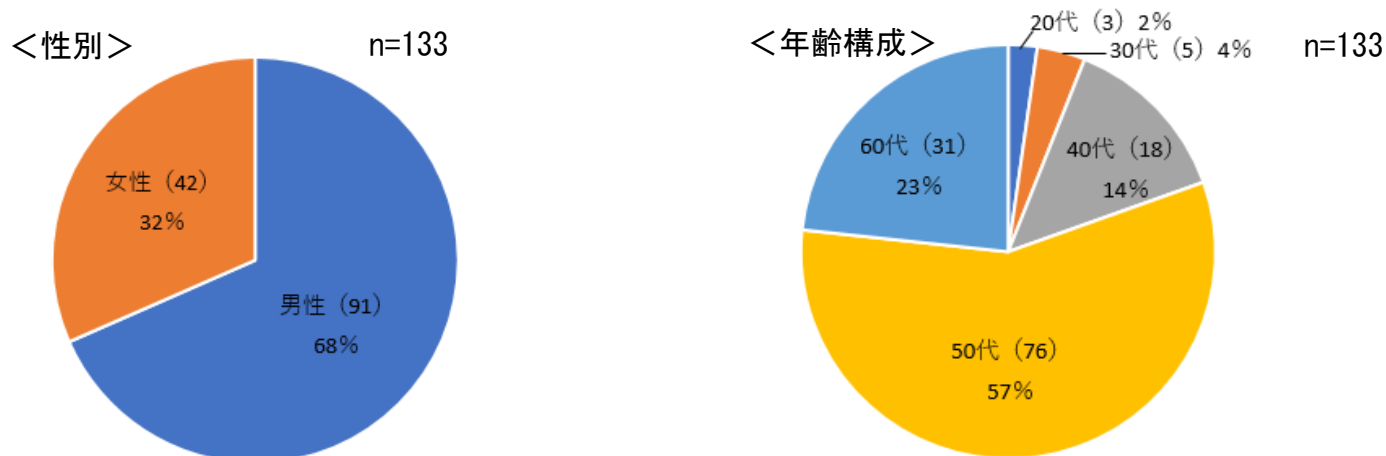
(1) 案内対象者に対する参加勧奨結果

- ・被保険者のうち「過去1年間歯科受診なし」は**44%**（前年度の**52%**から改善）。このうち、リスク保有者の割合は概ね前年同様。
- ・簡易検査応募者の割合は**12%**と前年比改善するも、実施割合は概ね前年度並み。

	2023年度	2024年度
①前年度健診受診者（被保険者）	11,189	10,236
②うち過去1年間歯科受診なし	5,807 (52%)	4,476 (44%)
③②のうち 健診問診回答が「ほとんどかめない」「かみにくい」 (③÷②)	418 (7%)	316 (7%)
④〃 問診回答は「なんでもかめる」が、特定保健指導対象者 (④÷②)	590 (10%)	375 (8%)
⑤〃 前年に糖尿病・脂質異常・高血圧の受診歴あり(③④除く) (⑤÷②)	463 (8%)	420 (9%)
⑥簡易検査案内対象 = ③ + ④ + ⑤ (⑥÷①)	1,391 (12%)	1,111 (11%)
⑦簡易検査応募者 (⑦÷⑥)	132 (9%)	133 (12%)
⑧簡易検査実施者 (⑧÷⑦)	111 (84%)	111 (83%)

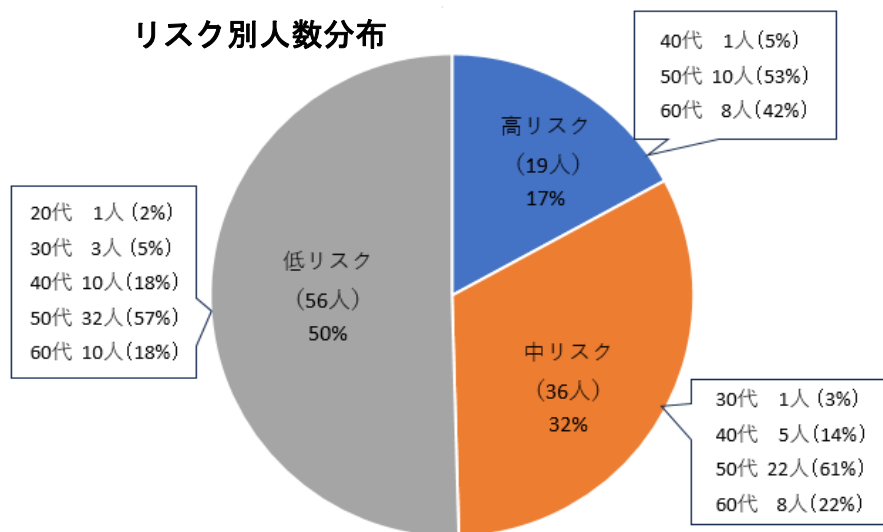
(2) 参加者属性（性別・年代）※2024年度分

- ・男女別では男性が7割。年代別では50代以上が8割。



(3) 簡易スクリーニングによる歯科検査結果

- ・リスク別には、高:17%、中:32%、低:50%。年代が上になるほど高リスク者が多い。



年代別リスク分布

	高リスク	中リスク	低リスク
20代	-	-	100%
30代	-	20%	80%
40代	7%	33%	60%
50代	16%	34%	50%
60代	31%	31%	38%

(4) 簡易検査後の受診勧奨結果

- ・簡易検査結果通知を受け、全体の**10%**が受診済み(予約済含む)と回答。
今後受診予定も含めると、**45%**の受診意向を喚起。
- ・高リスク者ほど、受診意向も向上。日々のセルフケアに関する行動変容も発現。

簡易検査後の歯科受診意向・セルフケアに関する行動変容

	受診した (予約済含む)	今後受診 するつもり	受診して いない	歯磨き粉を 変更	歯ブラシの動 かし方を意識	歯磨きの回数 が増えた	歯磨きの時間 が長くなった
高リスク(16人)	31%	44%	25%	6%	50%	13%	50%
中リスク(34人)	6%	53%	41%	6%	38%	0%	26%
低リスク(52人)	6%	19%	75%	8%	21%	8%	27%
全 体 (102人)	10%	34%	56%	7%	31%	6%	30%

(5) 簡易検査前後の歯科受診に対する意識変容

- ・簡易検査に際して配布した「案内チラシ」「結果通知書」等を通じ、定期受診の必要性の認識は**18%**から**95%**に大幅改善。

簡易検査前の歯科受診に対する意識

	歯科健診や口の専門的な ケアのため定期受診する	痛み等の自覚症状があった 場合に受診する
高リスク	18%	82%
中リスク	20%	80%
低リスク	17%	83%
全 体	18%	82%

検査後の定期健診の必要性に対する認識

定期健診の必要性を認識
88%
91%
100%
95%

(6) 前年度簡易検査後の追跡調査結果

- ・前年度参加者についてレセプトデータで追跡調査をした結果、アンケート(2023年12月)後、3月までに111人中26人(23%)、9月までに47人(42%)の受診を確認。
- ・アンケートでは「受診していない」と回答またはアンケート回答のなかった者も各々36人中9人(25%)、28人中9人(32%)が受診。

簡易検査後の歯科受診意向（アンケート回答結果）

	受診した (予約済含む)	今後受診 するつもり	受診して いない
高リスク(17人)	41%	29%	29%
中リスク(31人)	29%	32%	39%
低リスク(35人)	23%	23%	54%
全 体 (83人)	29% (24人)	28% (23人)	43% (36人)

簡易検査後の歯科受診状況（レセプト追跡調査結果）

	アンケート内容 (2023年12月)	～2024年3月 受診済み	～2024年9月 受診済み
受診した(予約済含む)	24人	10人(42%)	18人(75%)
今後受診するつもり	23人	6人(26%)	11人(48%)
受診していない	36人	3人(8%)	9人(25%)
アンケート回答なし	28人	7人(25%)	9人(32%)
合計	111人	26人(23%)	47人(42%)

- ・ターゲット選定条件別では35～57%が受診。本事業を通じた重症化予防効果も期待。

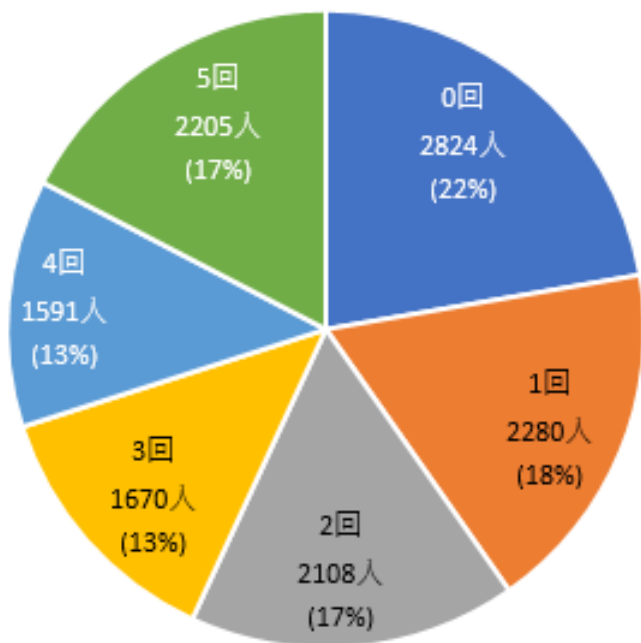
ターゲット選定条件別歯科受診状況（レセプト追跡調査結果）

	アンケート内容(2023年12月)			～2024年3月 受診済み	～2024年9月 受診済み
	受診した (予約済含む)	今後受診す るつもり	受診してい ない		
問診で自覚症状あり(23人)	2人(9%)	8人(35%)	9人(39%)	6人(26%)	13人(57%)
特定保健指導対象者(40人)	8人(20%)	9人(23%)	16人(40%)	10人(25%)	17人(43%)
糖尿病等受診歴あり(48人)	14人(29%)	6人(13%)	11人(23%)	10人(21%)	17人(35%)
合 計 (111人)	24人(22%)	22人(20%)	36人(32%)	26人(23%)	47人(42%)

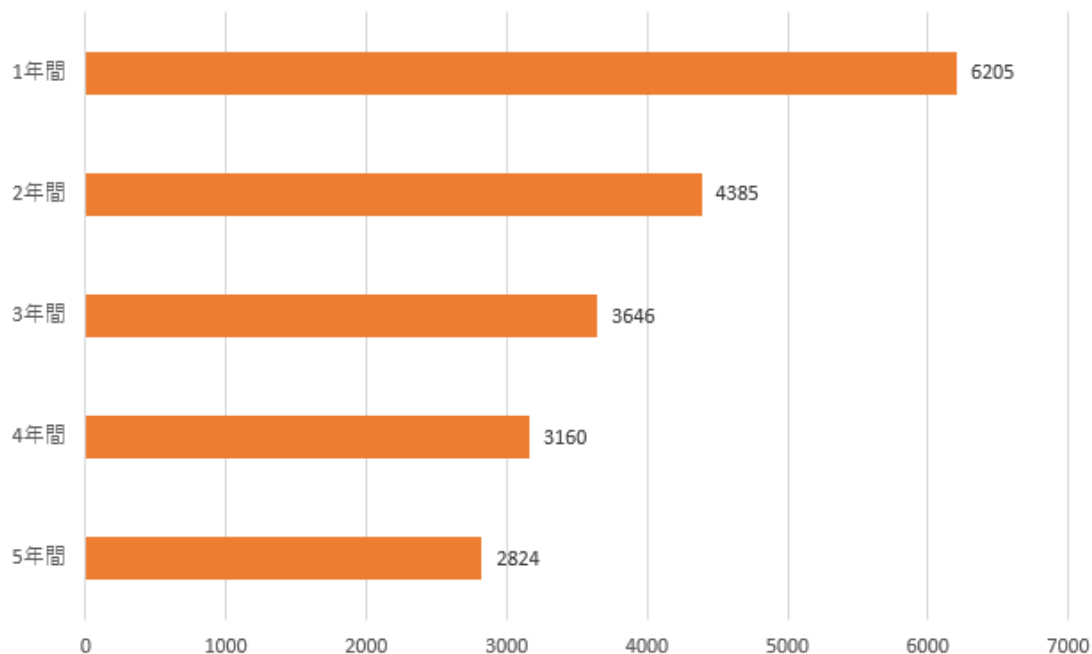
(7) 今後の課題

- ・過去5年間の歯科受診状況より、概ね毎年受診している者(5年間に4～5回)が30%いる一方、全く受診していない～ほぼ受診していない者(0～1回)が40%、2年に一度程度(5年間に2～3回)が30%と、定期健診によるプロケアの必要性に関する知識・意識浸透は道半ば。引き続きリテラシー向上に向けた啓蒙活動が必要。

過去5年間の歯科受診状況



直近の歯科未受診者の状況



本取り組みでの工夫や苦労した点

(1) 参加への意識喚起 (ナッジ理論の活用)

- ・指名でなく、募集方式で参加を募るため、案内対象者の①目にとまり、②参加意識を喚起し、③申込行動を起こせるかが肝要。

Easy (簡単・簡潔)

- 1)自宅で手軽にチェックできることを訴求
- 2)申込みは二次元コードまたはURLで完結

Attractive (魅力的)

- 検査キットもその後の歯科健診も無料で提供

Social (社会的)

- 対象者の要件や多数に案内していると明示することで「周囲の他の人が参加するなら自分も…」という意識に働きかける

Timely (タイミング)

- 社内イントラで告知後、速やかに自宅あてはがきを郵送、更に社内Eメールで参加勧奨

(2) 工程管理・参加者への督促等

- ・参加申込後、検体の提出やアンケートの回答等の督促を通じた工程管理が不可欠。
(期限後、間を置かずに督促することが効果的)

※自宅あて案内はがき

昨年1年間、歯科受診がなく、歯周病リスクチェックをお勧めしたいあなたへ

歯周病

- ・歯を失う原因の第1位
- ・口臭の原因の約90%
- ・糖尿病等成人病を重症化

通常の歯みがきだけでは歯垢は落ちず、歯周病菌が増殖する危険があります！

将来の自分のために今できることを！
この機会に歯科医院を受診しましょう！

まずは…
検査キットでお手軽に歯周病リスクチェック
検査方法はとっても簡単！

舌拭い用スポンジ綿棒で
舌全体を 表裏 10回以上
自分自身でふきとるようにぬぐって提出

歯周病リスクを3段階で判定し、ご報告します

歯周病リスクチェック申込み方法

先着100名様限定！

コチラから

step1 左記の二次元コードを読み込み

step2 申込みに必要な情報を回答

step3 回答完了後、受付完了メールを受け取り申込み完了
※検査キットのお届けまで数週間かかります

申込み期間 令和6年10月11日(金)まで

リスクが高めの結果が出ても大丈夫！
歯科健診も無料です 当組合独自の取組

問診
むし歯・歯周病チェック
歯みがきアドバイス

歯科健診をご希望の方は、右記の二次元コードにアクセスいただき、**一般歯科健診をお申込みください。**
※右記二次元コードは歯科健診の申込受付です。歯周病リスクチェックのお申込みはできません。

提携している全国の歯科医院で受診が可能です。
お近くの歯科医院を検索してください。

※社内Eメール(一例)

歯周病リスクチェック参加者募集の件

被保険者様

※宛先多数のため、BCCでお送りしています。

本メールは昨年1年間歯科受診歴がなく、定期健診で「ほとんどかめない」「かみにくい」と回答した方にお送りしています

歯と口の健康は、全身の健康と質の高い生活のために重要とされ、半年に1度は歯科健診を受けることが推奨されています。

当健康保険組合では、被保険者の健康増進に向けた取組みとして、
過去1年間歯科受診のない方の中から、特に歯周病となった場合の健康リスクの高い方を対象に「自宅でできる歯周病リスクチェック」を実施しますのでご案内いたします。
(委託先：株式会社エヌ・ティ・ティデータ経営研究所)

対象者のあなたには、ご自宅に「自宅でできる歯周病リスクチェックのご案内」のはがき(圧着はがき)をお送りしておりますが、本メールに案内チラシを添付しましたので、この機会にぜひご参加いただければと存じます(申込期限 10月11日)

本メールまたは案内チラシに記載の二次元コードまたはURLよりご参加申込みください。



<https://questant.jp/q/>

三菱UFJ 信託銀行 健康保険組合

まとめ・今後の取り組み予定

（１）歯科口腔保健への認識は依然低い

- ・「歯科は虫歯になったり、痛みが出てから通うもの」と考える者が多く、歯科医院でのプロケアの意義・重要性を継続的に啓蒙していくことが必要。

（２）ターゲットを明確にした受診勧奨は有効

- ・単に「未受診」というだけでなく、①「ほとんどかめない」「かみにくい」といった自覚症状がある、②特定保健指導対象者、③糖尿病・脂質異常・高血圧受診者等、ターゲットに明確にして案内することで、重症化リスクを意識付け、簡易検査や受診を促す効果が向上。

（３）事業の定例化で裾野拡大効果に期待可

- ・事業への参加率（応募者数／案内対象者数）は前年度8％から今年度12％に向上。事業を継続・定期的に募集を実施することで、当初の無関心層にも意識・行動変容を促す効果（可能性）が期待できる。

本事業同様のスキームを継続することは、歯科口腔保健だけでなく、生活習慣病の重症化予防にも効果が期待可能と評価。

今回得たノウハウを活用し、保健事業として定例実施予定。

（本事業の簡易検査キット提供事業者等と、改めて個別に協議予定）

